

令和2年度 国立大学イノベーション創出環境強化事業 令和元年度採択大学への今年度配分額

厳正な審査の結果、令和元年度採択校への今年度配分額を以下のとおり決定しました。

名古屋工業大学については、令和元年度の民間資金獲得額が前年度比で大幅に減少していること、また交付金の使途が事業の目的達成につながると十分に判断できなかったことから、配分額を留保分全額の2,000万円減額し、優れた成果が認められた東京工業大学及び東京医科歯科大学の配分額に1,000万円ずつ上乗せします。

国立大学運営費交付金 重点支援①¹及び②²の大学

採択時の順位	大学名	令和2年度配分額	令和2年4月配分額との差分
1位	東京医科歯科大学	1.1億円	+0.5億円
2位	山梨大学	1億円	+0.4億円
3位	名古屋工業大学	0.3億円	0円

国立大学運営費交付金 重点支援③³の大学

採択時の順位	大学名	令和2年度配分額	令和2年4月配分額との差分
1位	千葉大学	2億円	+0.8億円
2位	東京工業大学	1.1億円	+0.5億円

計5大学(配分総額 5.5億円)

¹ 主として、地域に貢献する取組とともに、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で世界・全国的な教育研究を推進する取組を中核とする国立大学を支援

² 主として、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で地域というより世界・全国的な教育研究を推進する取組を中核とする国立大学を支援

³ 主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を中核とする国立大学を支援